



平成28年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月7日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 問合せ先責任者 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年4月期第3四半期の連結業績(平成27年5月1日~平成28年1月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第3四半期	5,982	14.7	209	△18.1	205	△24.3	125	△23.9
27年4月期第3四半期	5,213	14.6	255	114.9	271	137.8	164	146.9

(注) 包括利益 28年4月期第3四半期 120百万円(△25.9%) 27年4月期第3四半期 162百万円(144.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第3四半期	21.00	20.22
27年4月期第3四半期	27.77	27.39

(注) 平成27年5月1日付で1株につき5株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年4月期第3四半期	2,751	1,608	58.3
27年4月期	2,901	1,516	51.9

(参考) 自己資本 28年4月期第3四半期 1,604百万円 27年4月期 1,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	—	—	24.00	24.00
28年4月期	—	—	—	—	—
28年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年4月期の期末配当につきましては実施する予定ですが、金額は未定であります。

3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日~平成28年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,488	16.7	467	24.3	458	17.0	301	21.2	50.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) — 、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年4月期3Q	5,976,000株	27年4月期	5,971,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年4月期3Q	405株	27年4月期	405株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年4月期3Q	5,975,620株	27年4月期3Q	5,939,580株
----------	------------	----------	------------

(注) 平成27年5月1日付で1株につき5株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など、総じて緩やかな回復基調となりましたが、海外景気の下振れによる影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましては、客単価の低下や来店頻度の減少傾向は変わらず、厳しい環境が続いております。

そのような状況下、当社グループでは「開業支援」から「開業+経営支援」へのサービス領域を拡大することで更なる成長を図るべく、化粧品・消耗品などのリピート商材の商品ラインナップ拡充による「フロー&ストック型の収益構造への転換」や、採用・教育支援メニューの強化による「経営ソリューションサービスの充実」などの取組を継続的に実施して参りました。

平成28年1月末時点のアクティブユーザ（過去1年間に1回以上購入したユーザ）は84,052口座（前年同期比9,332口座増）に伸長し、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,982,391千円（前年同期比14.7%増）、売上総利益は1,936,853千円（前年同期比9.2%増）となりました。しかしながら当第3四半期会計期間において、カタログ通販誌の発刊等積極的なプロモーション施策を実施した影響もあり、営業利益は209,060千円（前年同期比18.1%減）、経常利益205,460千円（前年同期比24.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益125,494千円（前年同期比23.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

物販事業売上高の6割超を占める当社の最も重要な販売経路である「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由の売上高は前年同期比約127%と順調に拡大を続けております。平成27年11月には、カタログ通販誌「BG STYLE」の最新刊2種（理美容室向けとエステ・ネイルサロン向け）を発刊致しました。また、ネイル業界最大のイベント「NAIL EXPO」へ過去最大規模の12コマで出展し、日本製としてリニューアルした当社PBネイルブランド「Raygel」のアピールにも努めました。

一方で、昨今サロン専売品を一般のネットショップやディスカウントストア等に転売する不正流通・不正取引が美容業界内で問題視されている事態を受け、サロン様とメーカー様の双方からの信頼を確保することが重要であると判断し「サロン審査厳格化」を実施したことにより、エステティックサロン向け化粧品・消耗品における売上高が若干低迷致しました。

この結果、当事業の売上高は4,698,638千円（前年同期比15.7%増）、セグメント利益は276,590千円（前年同期比13.4%減）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しており、東京・金沢・福岡・大阪・名古屋の5つの拠点にオフィスを構え当社と連携して事業を展開しております。

デザイナーの増員や店舗設計WEBサイトのリニューアル等、積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓に努めましたが、当第3四半期会計期間においては大型受注案件が少なく、当事業の売上高は1,071,071千円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益は49,975千円（前年同期比13.8%減）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、採用支援サービス、教育サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当第3四半期会計期間におきましては、居抜き不動産仲介サービス、保険サービス、システム導入支援サービスや集客支援サービスなどが好調だったことから、当事業の売上高は212,680千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は31,020千円（前年同期比116.6%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し、2,411,831千円となりました。これは、主に商品の増加163,567千円があったものの、現金及び預金の減少240,091千円及び受取手形及び売掛金の減少96,349千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12.2%増加し、339,228千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加38,691千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21.7%減少し、986,937千円となりました。これは、主に買掛金の減少181,851千円、1年内返済予定の長期借入金の減少11,098千円及び未払法人税等の減少83,664千円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23.5%増加し、155,187千円となりました。これは、主に長期借入金の増加19,552千円、その他固定負債の増加7,766千円及びポイント引当金の増加7,046千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、1,608,934千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少28,658千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加125,494千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月9日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,748	598,656
受取手形及び売掛金	573,949	477,600
商品	878,732	1,042,300
仕掛品	17,693	25,550
その他	297,616	274,289
貸倒引当金	△7,739	△6,563
流動資産合計	2,599,001	2,411,831
固定資産		
有形固定資産	79,663	85,690
無形固定資産		
ソフトウェア	59,318	51,404
その他	116	116
無形固定資産合計	59,434	51,520
投資その他の資産	163,326	202,017
固定資産合計	302,424	339,228
資産合計	2,901,425	2,751,059
負債の部		
流動負債		
買掛金	502,251	320,400
短期借入金	12,500	11,250
1年内返済予定の長期借入金	90,744	79,646
未払法人税等	105,683	22,019
賞与引当金	26,570	75,355
製品保証引当金	15,848	16,367
受注損失引当金	141	1,698
資産除去債務	1,065	5,274
その他	504,851	454,926
流動負債合計	1,259,656	986,937
固定負債		
長期借入金	36,948	56,500
ポイント引当金	35,703	42,749
資産除去債務	23,094	18,243
その他	29,928	37,694
固定負債合計	125,674	155,187
負債合計	1,385,330	1,142,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,182	269,745
資本剰余金	220,449	221,012
利益剰余金	1,017,510	1,114,346
自己株式	△202	△202
株主資本合計	1,506,939	1,604,900
新株予約権	236	236
非支配株主持分	8,919	3,797
純資産合計	1,516,095	1,608,934
負債純資産合計	2,901,425	2,751,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
売上高	5,213,743	5,982,391
売上原価	3,440,351	4,045,538
売上総利益	1,773,392	1,936,853
販売費及び一般管理費	1,518,033	1,727,792
営業利益	255,359	209,060
営業外収益		
受取利息及び配当金	55	75
為替差益	13,913	-
受取手数料	-	3,724
その他	4,577	2,116
営業外収益合計	18,546	5,916
営業外費用		
支払利息	1,250	901
為替差損	-	6,009
創立費	502	-
その他	659	2,605
営業外費用合計	2,412	9,516
経常利益	271,492	205,460
特別利益		
固定資産売却益	86	184
特別利益合計	86	184
税金等調整前四半期純利益	271,579	205,645
法人税、住民税及び事業税	127,968	95,012
法人税等調整額	△19,215	△9,740
法人税等合計	108,752	85,272
四半期純利益	162,826	120,372
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,111	△5,121
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,938	125,494

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	162,826	120,372
四半期包括利益	162,826	120,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,938	125,494
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,111	△5,121

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,059,808	955,757	198,177	5,213,743	—	5,213,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,794	37,705	676	56,176	△56,176	—
計	4,077,603	993,462	198,854	5,269,919	△56,176	5,213,743
セグメント利益	319,322	57,990	14,323	391,636	△136,277	255,359

(注) 1. セグメント利益の調整額△136,277千円には、セグメント間取引消去3,321千円、未実現利益の調整額6,686千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,285千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,698,638	1,071,071	212,680	5,982,391	—	5,982,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,287	20,960	10,084	120,331	△120,331	—
計	4,787,926	1,092,031	222,764	6,102,723	△120,331	5,982,391
セグメント利益	276,590	49,975	31,020	357,586	△148,526	209,060

(注) 1. セグメント利益の調整額△148,526千円には、セグメント間取引消去14,780千円、未実現利益の調整額△679千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,627千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。